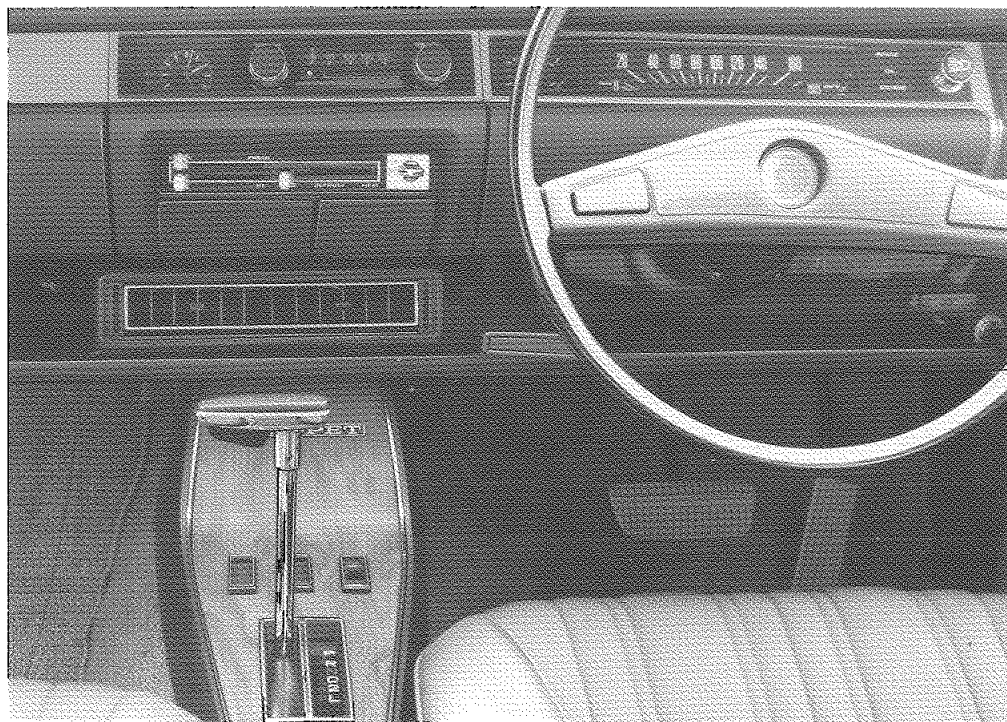


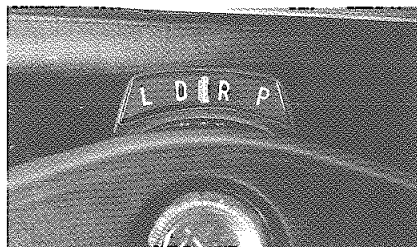
トヨグライド・オートマチック

CORONA *MARK II 1700 / 1900*

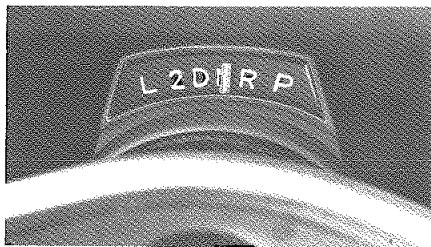


■運転装置（コラムシフト）

2段トヨグライド



3段トヨグライド



コントロール・レバーの位置は、インジケータリング・プレートに示されます。このインジケータリング・プレートは、ライト・コントロール・スイッチがONのとき照明されます。

コントロール・レバーは次のように動かします。

Ⓐ, ①……………そのままの位置であげさげする。

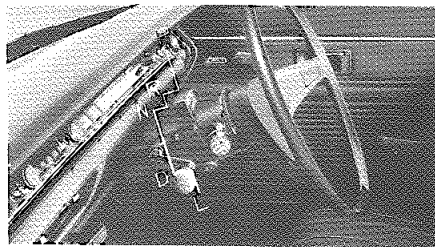
Ⓑ……………手前に引き、上にあげる

Ⓒ……………Ⓑポジションより更に手前に引き、上にあげる。

Ⓓから他のレンジへ移すとき、一度手前に引きよせてから下にさげます。

エンジンが回転しているときに、コントロール・レバーをⒷにするとバック・アップランプがつかます。

④……………手前に引き、下に下げる。



パーキング・レンジ

駐車するときの位置です。

＜注意＞……………車が完全に止まってから入れてください。

リバース・レンジ

車をバックさせる位置です。

＜注意＞……………車が完全に止まってから入れてください。

ニュートラル・レンジ

エンジンをかける位置です。

＜注意＞……………Ⓑ, ①, ②, ④ではエンジンはかかりません。

ドライブ・レンジ

通常走行する位置です。

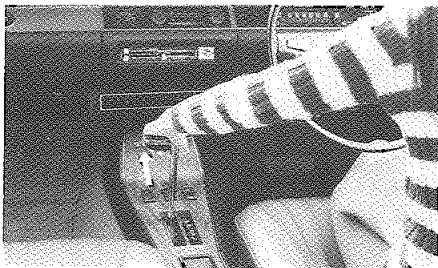
セカンド・レンジ

エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

ロー・レンジ

強いエンジン・ブレーキが必要のとき使う位置です。

3段トヨグライド (フロアシフト)



コントロール・レバーの動かし方は次の図のように行ないます。

➡そのまま動かす。

➡コントロール・レバー・ボタンを押して動かす。

エンジン・スイッチがONのときにⓇにするとバック・アップ・ランプがつきます。

2段トヨグライドは3段トヨグライドに準じてください。



パーキング・レンジ

駐車するときとエンジンを始動する位置です。

＜注意＞車が完全に止まってから入れてください。

リバース・レンジ

車をバックさせるときの位置です。

＜注意＞車が完全に止まってから入れてください。

ニュートラル・レンジ

エンジンを始動させるときの位置です。

＜注意＞Ⓡ②③④ではエンジンはかかりません。

ドライブ・レンジ

通常走行する位置です。

セカンド・レンジ

エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

ロー・レンジ

強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

■運転のしかた

エンジンの始動……

④, または⑤でエンジンを始動します。

発進・走行……

④に入れアクセルを踏み、発進・走行します。トヨグライドはオートマチックになっていますので、④レンジでは自動的にロー・ギヤで発進し、ある程度スピードがついてくるとセカンド・ギヤに切り、さらにハイ・ギヤに切換るようになっています。

キック・ダウン……

④レンジで車速50～60km/h以下で走行中、急加速したいときはアクセル・ペダルをいっぱい踏めば、セカンド・ギヤ（又はロー・ギヤ）に切換わり強い加速力が得られます。

エンジン・ブレーキ……

急坂路または長い坂路を下るとき、②または③に入れ、エンジン・ブレーキを利用します。

一旦停止……

④に入れたまま、ブレーキをかけ、車を止めます。

後退……

車が完全に止まってから④に入れます。

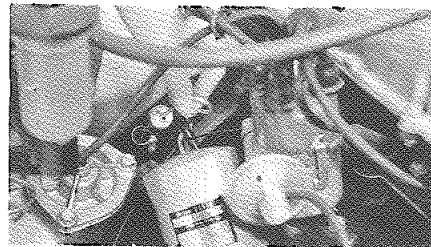
駐車……

車が完全に止まってから④に入れます。④では駆動関係が完全にロックされ、車を動かすことができない構造になっています。

＜使用上の注意＞

- ④または⑤にしてエンジンをかけてください。この場合、パーキング・ブレーキを必ずかけてください。
- ②③④⑤にして、ブレーキをかけたまま、エンジンを高回転させないでください。
- ③では、70km/h以上、②では105km/h以上で使用しないでください。
- 坂の途中で一時停止するとき、ブレーキを使わずに、④に入れてアクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないでください。
- 車から離れるときは、必ず④レンジに入れ、パーキング・ブレーキを引いておいてください。

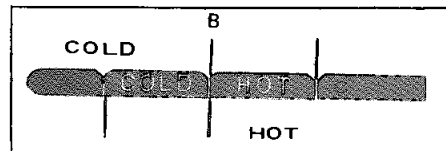
■トヨグライド・フルードの点検と補給



フルードの量や性状が、トヨグライドの性能に影響します。

お出かけになる前に、次の要領で点検してください。

- 車を水平なところに置き、④にしてエンジンをかけたままにしておきます。
- レベル・ゲージを抜き、布などできれいにふきます。
- もとの穴へいっぱい差し込んでから静かに抜き出します。



先端についたフルードの位置を調べます。
エンジンが暖まっているときHOTの
切溝で見ます。

冷えているときはCOLDで見ます。
COLD（水温計が50℃以下の場合）…
フルードがAとBの間にあればよい。
A以下のときは、Bまで補給してくださ
い。

HOT（水温計が80℃以上）……
フルードがBとCの間にあればよい。
B以下のときは、Cまで補給してくださ
い。

フルードは、レベル・ゲージを抜いた穴
から補給してください。

◀注意▶

フルードはF以上入れないでください。
フルードは、トヨタ純正キャスル・オ
ート・フルード・スペシャルを必ずご使
用ください。銘柄の違うフルードを混合
使用すると、トヨタグライドの性能に影響
します。

トヨタグライド・フルードは30,000km
走行ごとに交換してください。

■けん引されるとき注意

万一、故障してけん引されるときは、次
のようにしてください。

1. ⑨にして30km以下で行なってくださ
い。
2. トヨタグライド内部に故障があり、動
かすと不具合があると思われるときには
後の車輪をつり上げるか、プロペラ・シ
ャフトを取外してからけん引してくださ
い。